

1.CASEとは何か(その意味)

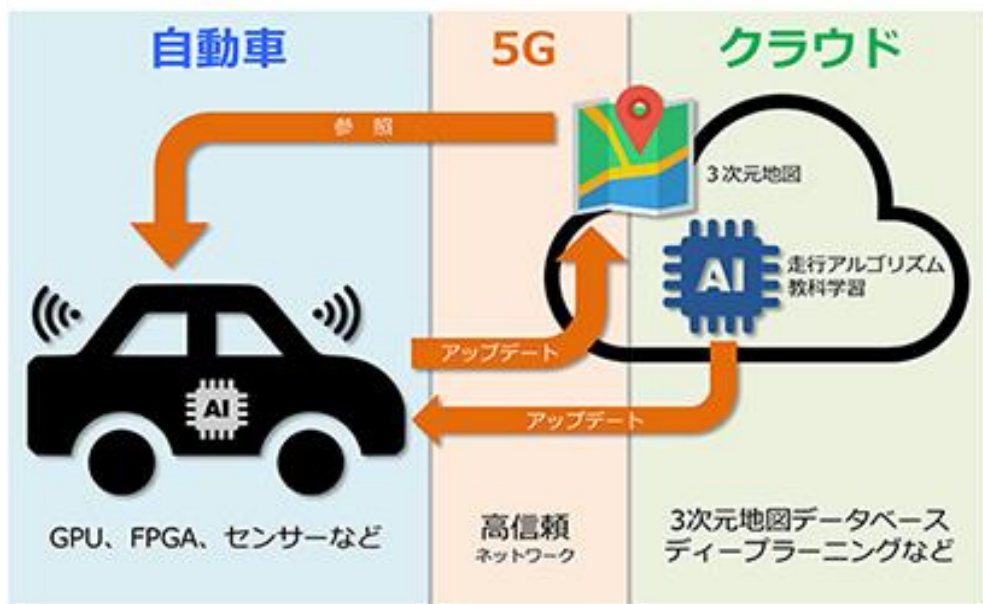
2018.12.6 深井

今の自動車のトレンド4つの頭文字を並べた「CASE=ケース」という造語。発言の主は独タイムラーのディーター・ツェツェ社長(2016年10月パリモーターショー) 大切なのはこの4つを包括的に提供するパッケージ

C: Connectivity(接続性)
A: Autonomas(自動運転)
S: Shared(共有)
E: Electric(電動化)



パリモーターショーでプレゼンするツェツェ社長

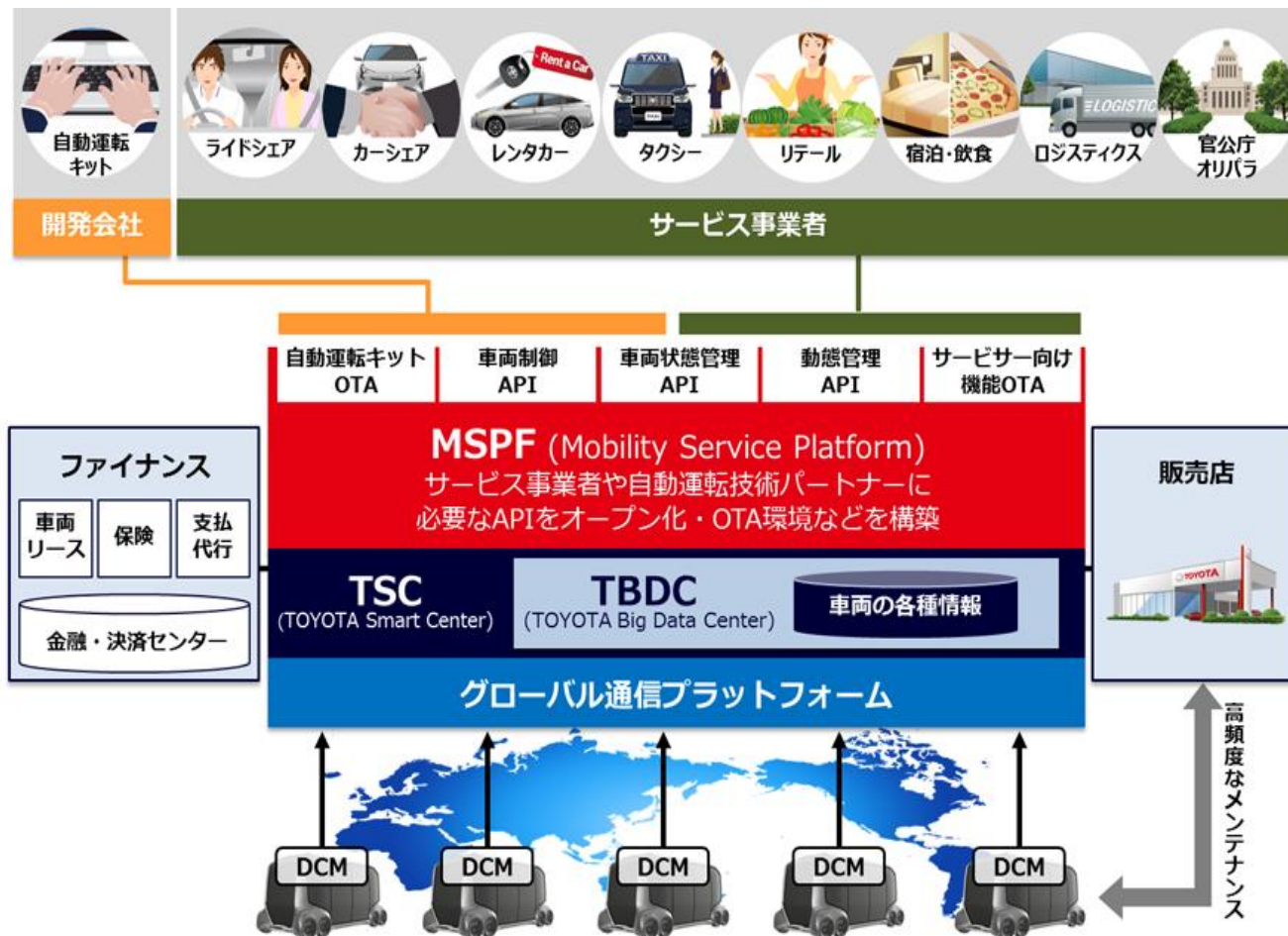


自動車がインターネットと“Connected”

- それぞれの稼働状況をリアルタイムで捉えることができます。
- ならば、空いている時間をお互いに融通し合えば、今ほどたくさんの車はいらなくなります。つまり“Shared”が実現するのです。
- スペースの効率化や地球資源の有効活用の視点からも、また利用者の経済的な負担の削減や、公共交通機関と異なる個人で自由に目的地へ移動できる利便性も、“Shared”を普及させることになるでしょう。

2. MaaSとは何か Mobility as a Service (MaaS)

- トヨタがe-Palette conceptで提示するMaaSの全体像
- カーシェアリングより広い概念を示している



e-Palette Conceptを活用したMaaSビジネスにおけるMSPF

DCM(Data Communication Module): 車両に搭載されたデータコミュニケーションモジュール

OTA(Over The Air): 無線通信を経由して、ソフトウェアの更新を行うこと。

API(Application Program Interface): プログラミングの際に使用できる関数。その関数を呼び出すだけで機能を利用できる。

2. MaaSとは何か

Mobility as a Service (MaaS)

サービス事業者



移動



物流



医療



飲食

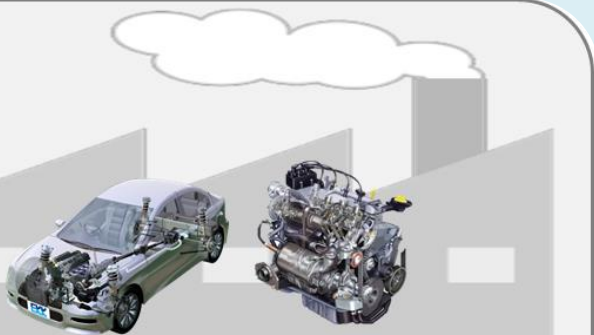


空間提供

- ・自動車の使用
- ・自動車を使ったサービスの提供



- ・ CASE & MaaSによりビジネスの重心が“自動車製造・販売”から“Mobilityによるサービス”へ移ることが想定される
- ・ それに備えて、全体をビジネスに取り込む戦略が必要となってくる



自動車製造・販売



TOYOTA



HONDA



NISSAN



MAZDA



SUBARU



SUZUKI



DAIHATSU



mitsubishi motors

自動車の製造・販売

3. CASE & MaaS時代に求められる自動車の新しい付加価値

ボルボが完全自動運転コンセプト発表、競合は短距離国内航空路線---300kmが境界線

ボルボ360cは、ドライバーが運転操作を車両に任せる完全自動運転のコンセプトカー。360cの乗員は移動中、仕事をしたり、趣味に打ち込んだり、ラウンジのようにくつろいだり、仮眠を取ったりすることができる。360cのインテリアは、モバイルオフィスやリビングルーム、エンターテインメント空間、ベッドルームとして利用できるように設計された。



3. CASE & MaaS時代に求められる自動車の新しい付加価値

メルセデスベンツ、完全自動運転EV提案---ボディ交換で乗用車にも商用車にも

- ヴィジョン・アーバネティックは、メルセデスベンツが考えるオンデマンドで効率的、快適で持続可能なモビリティのためのコンセプトカー。EVパワートレインを搭載した完全自動運転車の提案となる。
- ヴィジョン・アーバネティックは、1種類の車台を基本に、使用目的に応じて2種類のボディパネルを載せ替える。人を載せるライドシェアリングで使用する場合、丸みを帯びたエアロダイナミクスボディが特徴。最大12人の乗客を収容できる。
- また、荷物を運ぶ商用車として使用する場合、積載性を追求したスクエアなボディが特徴。荷室には欧州の標準規格の「ユーロパレット」を最大10個搭載できる。両ボディともに、完全自動運転車のため、ステアリングホイールやペダル、ダッシュボードなどは装備されない。

